

FM-9000 シリーズファイバ型レーザー

概要

FM-9000 シリーズは、フォトニサーチ社の日本国内自社製品で、SM と PM 型ファイバ多波長出力レーザーです。医療・診断機器、印刷・製薬・計測・分光・バイオ用共焦点型顕微鏡等光学装置に OEM で組み込み、又は研究開発の為に理化学機器やラボ用の高信頼性かつ高性能レーザー光源です。各種ファイバと LD 等キー部品は日本製で、設計から組立てまで主に国内で行っています。OEM 向けの電源・制御・付属ビーム整形光学系・一本化ファイバ多波長出力用の合波器等、御希望に応じてカスタマイズすることも出来ます。

共通仕様

1. 標準モジュール ドライバ内蔵 2U ボックス FC/PC 出力

2. 型番・波長・出力

型式	レーザー波長	最大出力
2-1 FM-PMVIS	405/490/530/635nm	350mW
2-2 FM-NIRPM	785/840/980/1060nm	600mW
2-3 FM-NIRSM	808/840/930/1100nm	10W

3. 諸オプション

3-1 FM-SLM	0.5nm (狭帯域化に SLM 可)
3-2 FM-SLD	30nm (SLD 型広帯域出力)
3-3 FM-PMF	オール偏波保存型 (消光比 13dB)
3-4 FM-RGB	R635nm/G527nm/B490nm 三波長型
3-5 FM-ADM	最速 40MHz デジタルとアナログ変調可
3-6 FM-EBM	EB 端子と外部 LD モジュール直結型

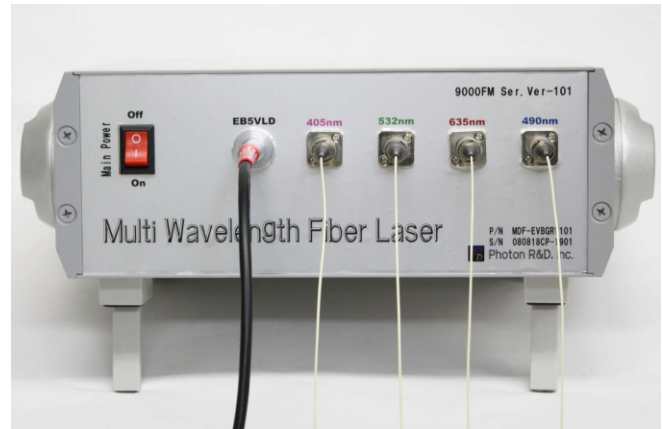


図1. FM-9000 五波長(VRGBNIR)出力ファイバ型レーザー

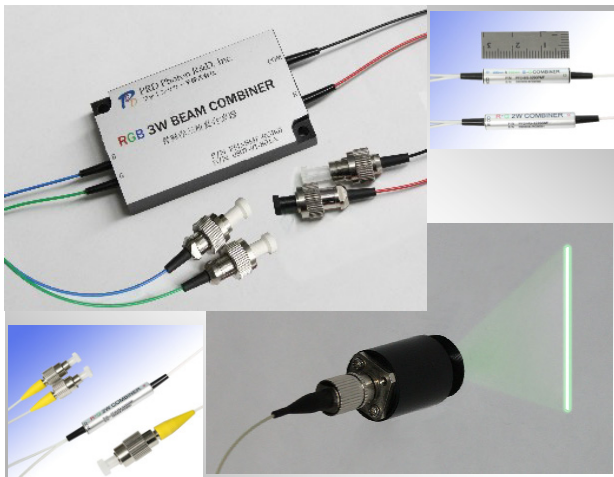


図2. 緑色ファイバレーザー線状ビームホモジナイザ(右下図)と RGB-3W 三原色赤緑青合波器(左上図)

4. 短波長ファイバアクセサリ

光通信より、主に可視から 1100nm まで短波長域に展開
自社開発した多応用に対応多種なファイバアクセサリ製品群

4-0 共用仕様 適用波長は 375nm ~ 可視 ~ 1100nm 域

PMF/SMF/MMF 及びその他特殊 Fiber

ファイバと光学系は多波長に対応可能

4-1 合波分波 PFD-SMF/PMF-RGB 標準合波器

特性 挿入ロス 3dB 以下最大四波長 4 x 1 合波

許容幅 200nm 標準 SMF、特注で PMF 可

4-2 コリメーター FCポート入力ビーム仕様のカスタマイズ可

ビーム整形 無収差ガウシアン型と矩形ホモジナイザ型

5. その他

5-1 外寸 2U ラックマウント L182 x W235 x H88
取手の外寸 L236 x W284 x H103

5-2 駆動電源 2U に内蔵、供电 100VAC 50/60Hz

5-3 制御方式 BNC/SMA Port に TTL/Analog/Digital 変調

記1: 現バージョン Ver.101 予告なく改良する場合にもあります。